

事業番号	10 04 07	事業改善シート（令和5年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州ジビエ総合振興対策事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課			
		実施期間	H16～	E-mail	shinrin @ pref.nagano.lg.jp			

### 1 現状と課題

・県内のシカ肉利用量は増加している一方、食肉加工施設の運営・生産体制は零細規模であり、衛生的で良質なジビエの安定的な市場への供給のため、生産・衛生管理体制の整備に対する支援が必要である。

### 2 事業目的

捕獲個体を地域の有用な資源として利活用し、民間との協働により、信州ジビエをビジネスとして定着させるための総合的な振興を図り、農山村の活性化に資する。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①信州ジビエの生産体制整備への支援
  - ・市町村や協議会が行う衛生管理の行き届いた質の高いジビエ生産に係る施設整備や販路開拓等の活動を支援
- ②シカ肉の安全な流通を確保するための放射性物質検査の実施
  - ・富士見町産シカ肉の全頭検査と県内シカ肉のモニタリングによる放射性物質検査を実施

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	二ホンジカの捕獲数	頭	32,492	29,306	↘	28,841 (速報値)	↘	40,000	未達成	第二種特定鳥獣管理計画（第5期二ホンジカ管理）において、個体数増加の抑制が見込まれる捕獲数として年間4万頭を目標としている。	
②	指標なし										

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-1②	人と自然が共生する社会の実現											

### 6 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	5,841	18,389	△ 7,000	17,230	1,993	14,631	1.0
R4年度	0	18,857	△ 4,000	14,857	1,961	6,449	1.0
R3年度	0	16,061	△ 2,700	13,361	1,921	11,813	1.0

事業番号	10 04 07	<b>事業改善シート（令和5年度実施事業分）</b>			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	<b>信州ジビエ総合振興対策事業</b>		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課		

## 7 主な取組実績と成果

### ①信州ジビエの生産体制整備への支援

- ・衛生管理の行き届いた質の高いジビエ生産・流通に向けた販路開拓等を促進するため、2市町村協議会へ商品開発や販路拡大等の取組への支援を行い、安定的な生産体制の維持につながった
- ・食肉加工施設の衛生管理体制の整備を支援するため、2施設へ指導を行い、信州産シカ肉認証制度の取得へ向け準備を進めることとなった

### ②シカ肉の安全な流通を確保するための放射性物質検査の実施

- ・安全な野生獣肉の流通のため、食肉加工施設で加工された食肉用個体を中心に放射性物質のモニタリングを行った
- ・基準値を超過した放射性物質が検出された市町村において、出荷制限されている獣肉の安全性を確認するため、出荷を予定している獣肉製品について全頭検査を実施した

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	ニホンジカの捕獲数	R4年度推移	↓	R5年度推移	↓	達成状況	<b>未達成</b>
捕獲圧を高めた結果、ニホンジカの警戒心が高まり、捕獲されにくくなってしまったことや、特にシカの生息域が拡大しつつある地域では、生息密度が低いいため捕獲効率が上がりにくく、捕獲が進まなかった。							
指標②	指標なし	R4年度推移		R5年度推移		達成状況	

## 9 今後の事業の方向性

### (1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・安全で良質なジビエの安定的な生産体制を推進するため、継続的な衛生指導や放射性物質のモニタリングが必要である
- ・信州産シカ肉認証制度では小規模処理施設等でも認証が得やすいように制度の見直し等も必要である

### (2) 事業改善の方策

- ・情報収集活動における課題や目標を共有し、営業局との連携を密にし、より効果的で効率的な情報収集を実施する
- ・専門家等の意見を聞きながら認証制度の見直し等を検討する

事業番号	10 04 07	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	<b>信州ジビエ総合振興対策事業</b>		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	<b>信州ジビエ総合振興対策事業</b>		11,813 千円	6,449 千円	14,631 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州ジビエ生産体制整備	直接 交付金	捕獲・搬送・解体加工に係る、良質なジビエ生産に必要な施設整備と販路開拓等の体制整備を支援 安全なジビエを提供するための放射性物質検査を実施 放射性物質検査 492件		